

第205回 信用保証利用企業動向調査

(2020年4～6月期実績、2020年7～9月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2020年10月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	2020年6月中旬
【調査対象】	1,869企業
【有効回答数】	721企業（回答率38.6%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

「県内信用保証利用企業の景況は、大幅に悪化しています」

生産・売上 すべての業種で大幅に悪化しました。

採算 すべての業種大幅に悪化しました。

資金繰り すべての業種で大幅に悪化しました。

借入難易感 卸売業、製造業、小売業、サービス業で改善しました。

■ お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 楠本・小田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



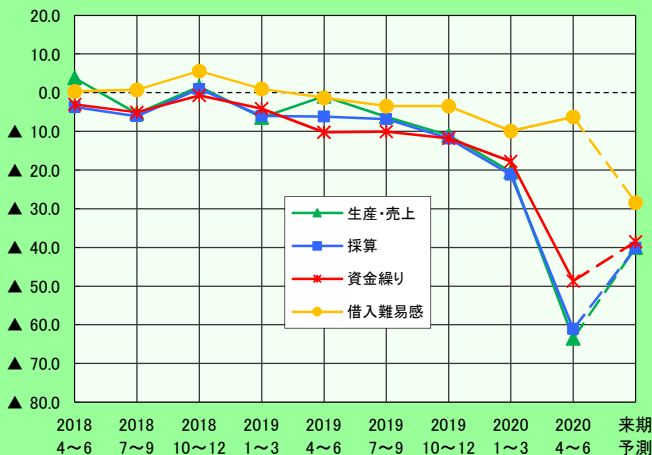
概況

総合DIの推移

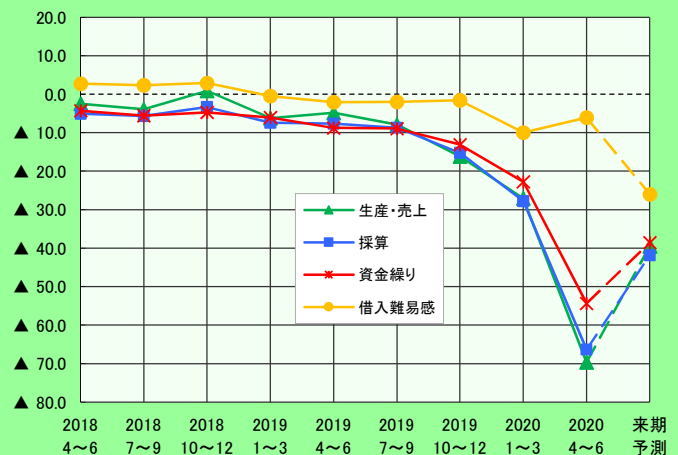
コメント ～全国と同様に、福岡の景況も大幅に悪化している～

今期調査(2020年4～6月期)による景況動向指数は、前期(2020年1～3月期)実績に比べ、全国値では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が大幅に拡大、借入難易感DIはマイナス幅がやや縮小しました。福岡では、生産・売上DI、採算DI、資金繰りDIはマイナス幅が大幅に拡大、借入難易感DIはマイナス幅がやや縮小しました。来期予測について、全国、福岡ともに、借入難易感DIが大幅に悪化する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS

◆ 新型コロナウイルス感染症対応資金の融資限度額引き上げについて

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者・小規模事業者の皆さまに対して実施している**3年間実質無利子・無担保、当初保証料ゼロ**の資金繰り支援の融資限度額が、6月25日付で、3,000万円から**4,000万円に引き上げ**られました。

融資対象者	市町村から以下のいずれかの認定を受けた方 ①セーフティネット保証4号(売上高20%以上減少) ②セーフティネット保証5号(売上高 5%以上減少) ③危機関連保証(売上高15%以上減少)
融資限度額	4,000万円以内
融資期間	10年以内(据置期間5年以内)
融資利率	1.3%(一部対象者を除き、貸付から 3年間は実質ゼロ)
信用保証料(当初)	事業者負担ゼロ (一部対象者は1/2負担)

※複数口の利用は可能ですが、同一資金間での借換は原則できません

- 新型コロナウイルス感染症に関する電話経営相談窓口を、設置しています。
電話相談窓口：(092) 415-2604 (午前9時～午後5時)
- 最新情報につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

福岡県信用保証協会

<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>



福岡県信用保証協会

本所保証統括部



0120-112-249

生産・売上DI

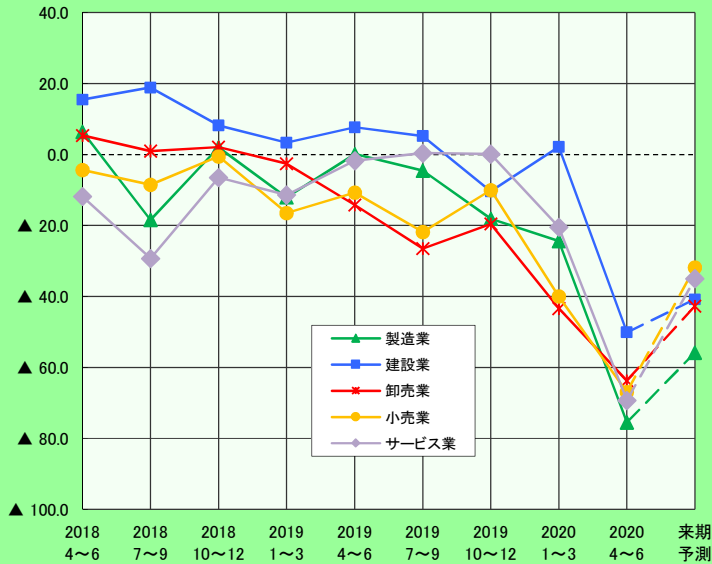
コメント ~すべての業種で大幅に悪化~

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ43.0ポイント悪化し、▲63.5となりました。

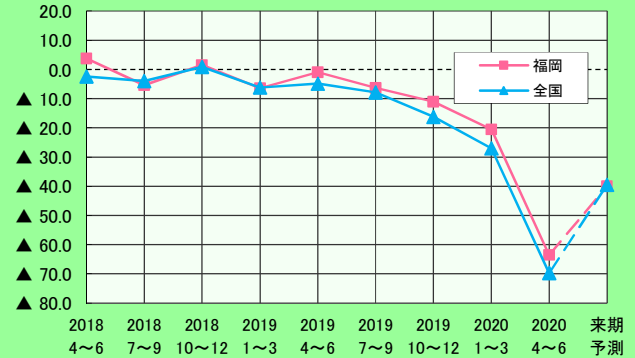
業種別では、前期実績に比べ、建設業は52.3ポイント、製造業は51.1ポイント、サービス業は48.8ポイント、小売業は26.9ポイント、卸売業は20.3ポイント悪化しました。

来期予測では、すべての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・売上DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 18.5	▲ 18.5	▲ 63.5	▲ 40.0
製造業	▲ 29.5	▲ 29.5	▲ 75.5	▲ 55.8
建設業	▲ 4.3	▲ 4.3	▲ 50.1	▲ 40.8
卸売業	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 63.7	▲ 42.7
小売業	▲ 38.7	▲ 38.7	▲ 66.9	▲ 31.8
サービス業	▲ 19.7	▲ 19.7	▲ 69.3	▲ 35.0

採算DI

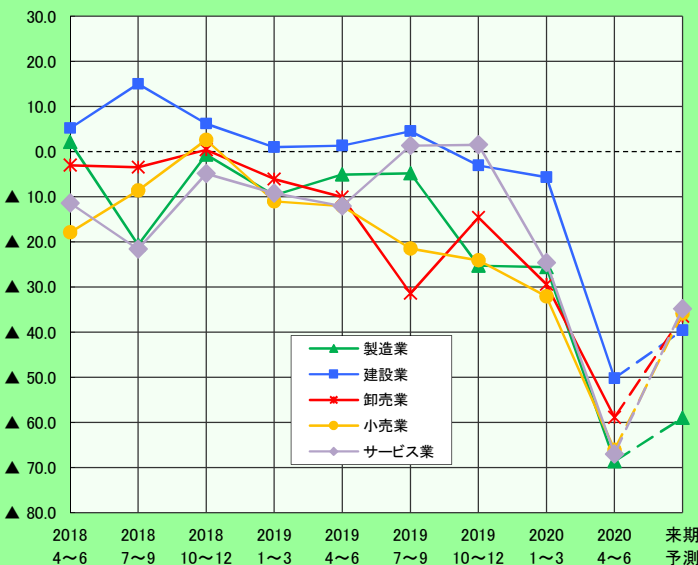
コメント ~すべての業種で大幅に悪化~

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ39.9ポイント悪化し、▲61.1となりました。

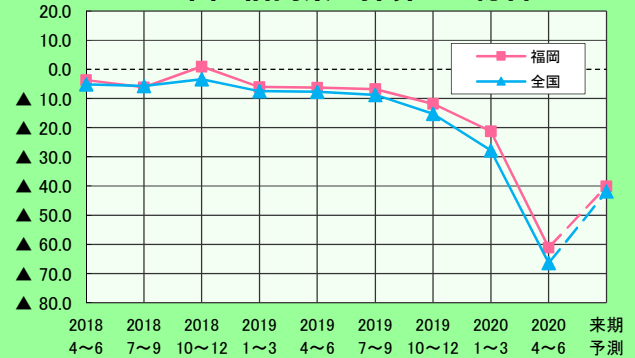
業種別では、前期実績に比べ、建設業は44.5ポイント、製造業は43.0ポイント、サービス業は42.4ポイント、小売業は34.0ポイント、卸売業は29.5ポイント悪化しました。

来期予測では、すべての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・採算DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 61.1	▲ 40.1
製造業	▲ 25.8	▲ 25.8	▲ 68.6	▲ 59.0
建設業	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 50.2	▲ 39.6
卸売業	▲ 30.3	▲ 30.3	▲ 58.9	▲ 36.5
小売業	▲ 32.2	▲ 32.2	▲ 66.1	▲ 35.9
サービス業	▲ 21.3	▲ 21.3	▲ 67.0	▲ 34.8

資金繰りDI

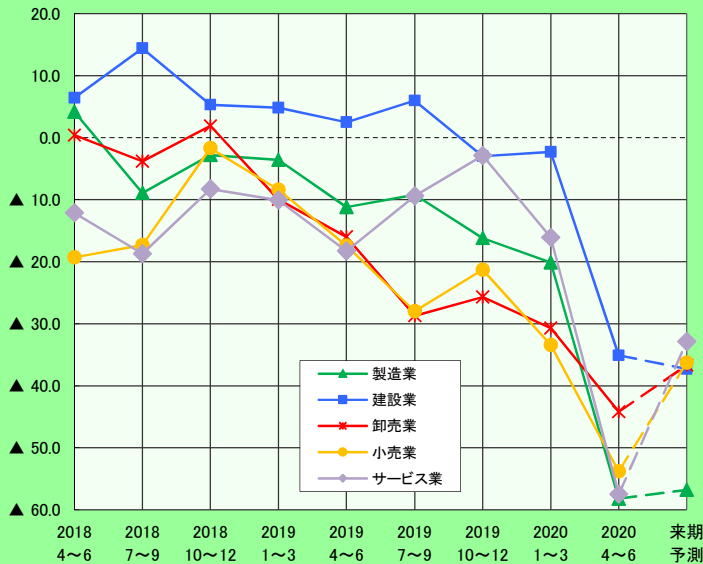
コメント ~すべての業種で大幅に悪化~

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ30.9ポイント悪化し、▲48.7となりました。

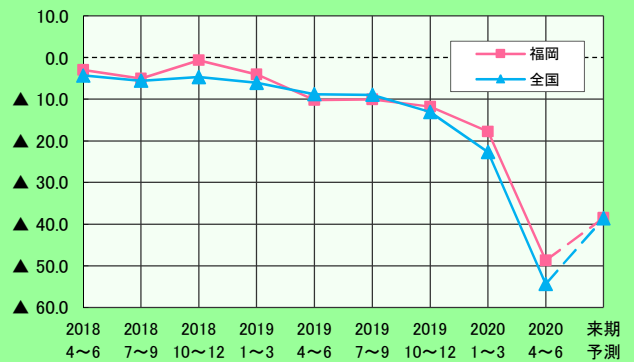
業種別では、サービス業は41.4ポイント、製造業は38.1ポイント、建設業は32.8ポイント、小売業は20.4ポイント、卸売業は13.5ポイント悪化しました。

来期予測では、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲23.4	▲48.7	▲38.5
製造業	▲38.9	▲58.2	▲56.8
建設業	▲5.1	▲35.1	▲37.3
卸売業	▲30.7	▲44.2	▲36.7
小売業	▲36.7	▲53.8	▲36.3
サービス業	▲23.0	▲57.5	▲32.9

借入難易感DI

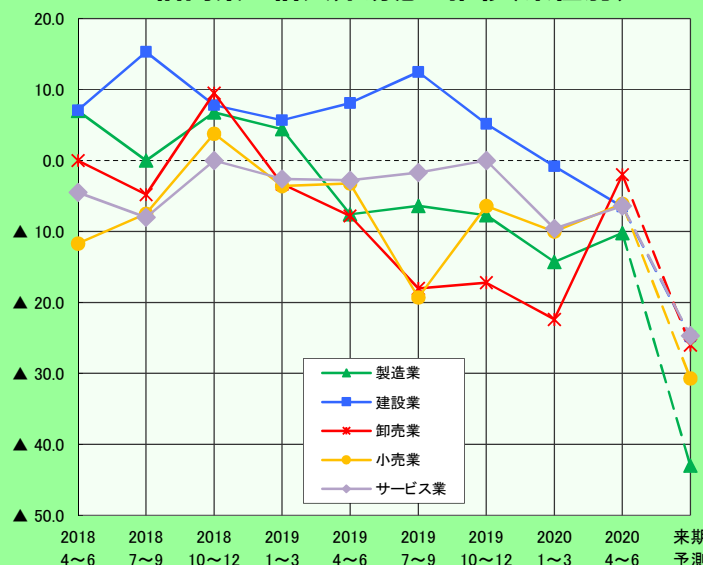
コメント ~卸売業、製造業、小売業、サービス業で改善~

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ3.6ポイント改善し、▲6.3となりました。

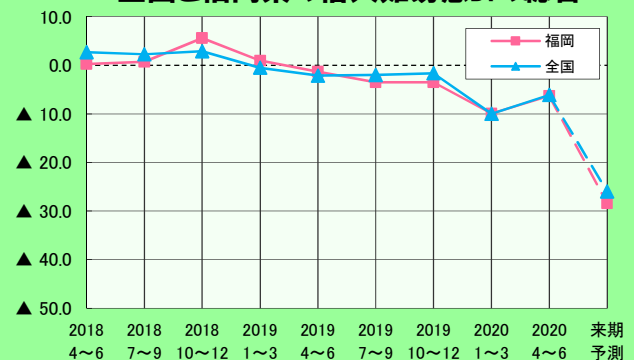
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は20.4ポイント、製造業は4.1ポイント、小売業は3.9ポイント、サービス業は3.2ポイント改善しました。一方で建設業は5.7ポイント悪化しました。

来期予測では、すべての業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲18.6	▲6.3	▲28.4
製造業	▲23.4	▲10.2	▲43.0
建設業	▲7.0	▲6.5	▲24.8
卸売業	▲26.4	▲2.0	▲26.0
小売業	▲25.8	▲6.1	▲30.7
サービス業	▲20.0	▲6.4	▲24.7

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(6月中旬)において、「影響あり」と回答した企業が約7割となっています。なお、「影響なし(今後、影響が出る可能性が高い)」と回答した企業も合わせると9割超となっています。
- ・従業員規模別に見ると、従業員規模の小さな企業(0~2人)の「影響あり(回復の兆しなし)」の回答割合が40%超と高くなっています。

2. 金融支援の利用状況について

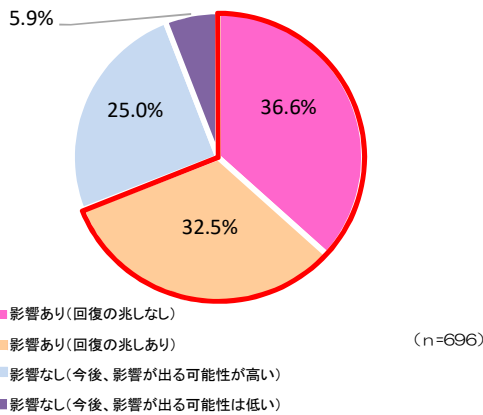
- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、2020年3~6月に金融支援を「利用した」と回答した企業は全体の6割を超えています。利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資を利用」が5割超と最も多く、次いで「政府系金融機関による融資を利用」が約5割となっています。
- ・金融支援を利用した理由については、「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が7割超と最も多く、次いで「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が6割超となっています。
- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が全体の6割超となっています。

3. 金融支援に係る情報の入手先について

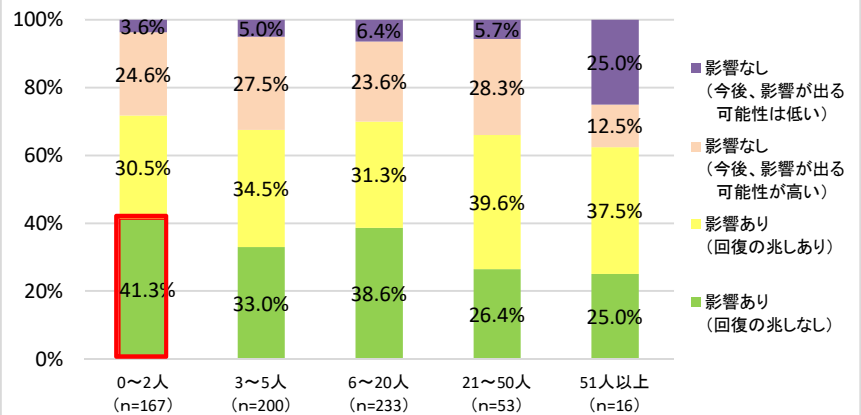
- ・金融支援の利用を検討する際における情報の入手先は、「関係機関の担当者、窓口」が7割超と最も多く、次いで「インターネット検索(ホームページ等)」、「テレビ、新聞等の報道や広告」となっています。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 企業活動へのマイナスの影響(全体)

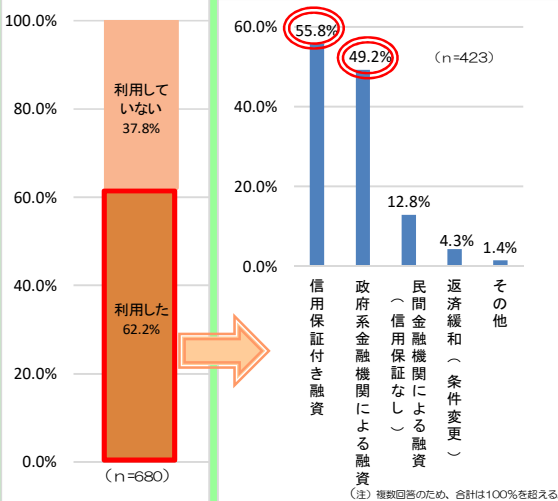


(2) 企業活動へのマイナスの影響(従業員規模別)

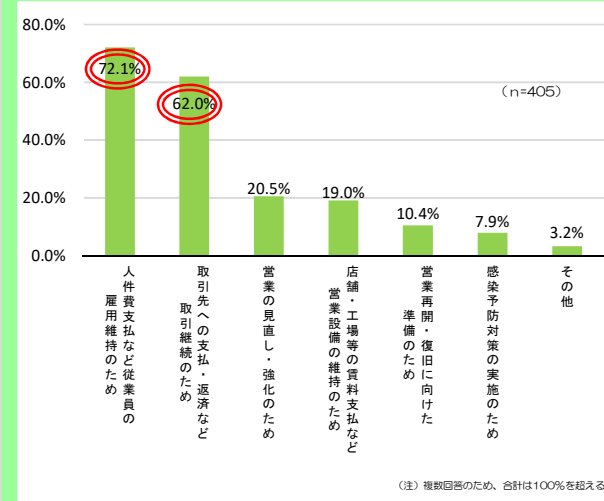


2. 金融支援の利用状況について

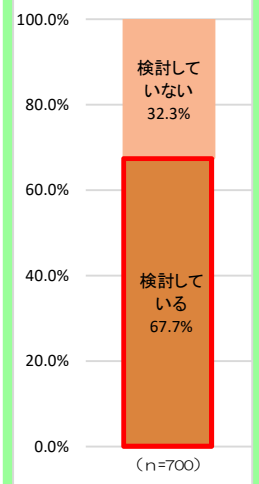
(1) 金融支援の利用状況(2020年3~6月)



(2) 金融支援を利用した理由



(3) 今後の金融支援の利用に係る検討状況



3. 金融支援に係る情報の入手先について

